

白川町教育委員会会議録

令和6年2月14日実施

白川町教育委員会会議録

令和6年2月14日午後1時23分、白川町教育委員会を白川町町民会館で開催した。その次第は、次のとおりである。

1. 開 議

2. 教育長諸般の報告

3. 議 案

- (1) 令和6年度白川町社会教育の方針と重点を定めることについて (議第1号)

4. 協議事項

- (1) 令和5年度白川町小・中学校教育指導の2学期評価について (資料別紙)
- (2) 令和6年度白川町小・中学校教育指導の方針と重点について (資料別紙)
- (3) 令和5年度小中学校・保育園の卒業式、卒園式
及び令和6年度小中学校入学式について (資料No.1)

5. 報告事項

- (1) 令和6年度小中学校学級編制見込みについて (資料No.2)
- (2) 令和5年度給食運営の状況について (資料No.3)
- (3) 学校統合アンケートの結果について (資料No.4)

6. その他

7. 連絡事項

- (1) 次回教育委員会

令和6年3月1日(金) 午前11時00分～ 白川町町民会館

※教育長室へご集合ください。

8. 出席者

教 育 長 鈴 村 雅 史

教育長職務代理人 汲 田 正 敏

教育委員 鈴村 由美子

教育委員 高木 守

教育委員 塩月 祥子

9. 事務局

教育課長 大岩 裕樹 教育主幹 小嶋 大介

学校再編専門監 玉置 雅野 給食センター事務長 嶋田 定

発達支援対策監 武市 進 学校教育係長 鈴村 幸祐

子育て支援係長 鷺見 るみ 生涯学習係長 安江 健太郎

10. 本日の会議の書記

生涯学習係主事 安江 瑛正

11. 本日の会議の経過

(1) 開 議

教 育 長 会議を開く旨を述べ開会した。 (午後1時23分)

(2) 書記の指名

教 育 長 白川町教育委員会会議規則第17条の規定により本日の書記に安江瑛正を指名した。

(3) 教育長諸般の報告

教 育 長 前回の教育委員会以降の動向等について報告した。

(4) 議 事

①令和6年度白川町社会教育の方針と重点を定めることについて (議第1号)

教 育 長 本件を議題にする旨を述べ、事務局に説明を求めた。

生涯学習係長 令和6年度白川町社会教育の方針と重点を定めることについて説明した。

教 育 長 質疑を許した。

汲 田 委 員 3ページの家庭、学校、地域の連携強化の中のコミュニケーションを「する」ではなく、「図る」としてはどうか。

また、5ページのスポーツ施設の効率的な利用と運営の推進の中の「具合を勘案」を「勘案」のみとしてはどうか。

生涯学習係長 指摘のあった箇所については修正することとしたい。

高木委員 4ページの安心安全な地域環境づくりの中に災害対応について記載をしてはどうか。

また、心を豊かにする芸術文化活動の推進の中の「生の」は別の表現に変えた方が良いと思うがどうか。

生涯学習係長 指摘のあった文言については修正させていただき、災害対応については教育委員会内で検討し、後日修正したものを提案させていただきたい。

教育長 他に質疑を許しなかったもので、異議がないか諮った。
(全員異議なく原案のとおり決定した。)

(5) 協議事項

①令和5年度白川町小・中学校教育指導の2学期評価について (資料別紙)

教育長 本件を議題にする旨を述べ、事務局に説明を求めた。

教育主幹 令和5年度白川町小・中学校教育指導の2学期評価について説明した。

教育長 質疑を許しなかったもので、次へ移る旨を述べた。

②令和6年度白川町小・中学校教育指導の方針と重点について (資料別紙)

教育長 本件を議題にする旨を述べ、事務局に説明を求めた。

教育主幹 令和6年度白川町小・中学校教育指導の方針と重点について説明した。

教育長 質疑を許した。

汲田委員 主旨の5行目と17行目に「特に近年」という言葉が2回出てきているため17行目の方を削除し、「未来を担うべく子どもが減少し」という部分については分かりづらいため「子どもの数が減少し」に変えてはどうか。

また、特別活動における〈教育活動全体を通じて特に配慮すること〉について、「協同的」から「協働的」に変わった理由はあるのか。

教育主幹 指摘のあった箇所については修正することとしたい。「協同」についてはかつて、「協同学習」とか「授業のユニバーサルデザイン化」の取組の一環として適用していた。現在文科省では「協働」として適用しているため変更させていただいた。

高木委員 方針にある「言葉を育て」という部分について、2学期評価総括にもあったが、タブレットの普及により記述することに苦手意識を持つ児童生徒が増加傾向にあるというのが現状である。その事実がある中で本来育てなければいけない力というものをすべてタブレットに頼るのでは

なく、白川町ならではの特色を表現していくべきだと思うがどうか。

教育主幹 学校によってタブレットを用いた授業において、思考したことをノートに記述するのかタブレットに記述するのか違うところがあり、この意見が出てきたのではないかと思われる。こちらで確認を行い、ノート等を書くこととICTを活用することの両方の力を伸ばしていけたら良い。

高木委員 【教科指導】の「基礎的・基本的」という部分はそれぞれがどこまでの範囲を指し、【特別活動】〈教育活動全体を通じて特に配慮すること〉の「小規模校、少人数」とはどこの学校を想定しているのか。

教育主幹 「基礎的・基本的」の範囲については人により捉え方が様々である。捉え方がまちまちにならないように評価基準で示しており、それにより統一できるような対応をしていきたい。

「小規模校、少人数」についてはすべての学校が当てはまるため文言を削除させていただく。

高木委員 【研修】の「キャリアデザインをし」の部分を「キャリアデザインを設計し」に変え、全体的に「一人ひとり」は「一人一人」が正しいと思うがどうか。

教育主幹 指摘のあった箇所については修正することとしたい。

教育長 質疑を許したがなかったので、次へ移る旨を述べた。

③令和5年度小中学校・保育園の卒業式、卒園式及び令和6年度小中学校入学式について (資料No.1)

教育長 本件を議題にする旨を述べ、事務局に説明を求めた。

教育課長 令和5年度小中学校・保育園の卒業式、卒園式及び令和6年度小中学校入学式について説明した。

教育長 質疑を許した。

汲田委員 告示を読む委員を話し合い輪番制にしてはどうか。

教育課長 委員の中で話し合い検討していただければ問題はない。

教育長 白川中学校卒業式の告示については汲田委員に代わり、高木委員が告示を読むこととする。

教育長 他に質疑を許したがなかったので、次へ移る旨を述べた。

(6) 報告事項

教育長 報告事項について説明を求めた。

学校教育係長 令和6年度小中学校学級編制見込みについて説明した。(資料No.2)

- 給食センター事務長 令和5年度給食運営の状況について説明した。 (資料No.3)
- 学校教育係長 学校統合アンケートの結果について説明した。 (資料No.4)
- 教 育 長 質疑を許した。
- 汲 田 委 員 特別支援学級が複数ある中で職員の配置は見込まれているのか。
- 教 育 主 幹 特別支援学級については、来年度も継続となるため職員は配置される見込みである。
- 汲 田 委 員 給食の材料代高騰により町費の補填が増加してくることが想定されるが、教職員等に対する給食費の値上げについては検討しているのか。
- 教 育 課 長 県内では7町村ほどが給食費の無料化をしており、議員からも無料化について検討するように話が出ている。現在の給食費については平成21年度より据え置きにしてきており保護者に負担を求めているところであり、不足する額を保護者の負担軽減のため町費で補っている。来年度については町として現状維持でいくことを考えているが、他町村の動向も見つつ教職員等に対する給食費は検討していきたい。
- 汲 田 委 員 スクールバスの通学に慣れることができない生徒の中に蘇原地区の3年生が4名もいる。昨年度は1名のみであったのに対して今年度増加しているのは何か問題があるからではないか。
- 学校教育係長 蘇原地区のバスについては、切井から三川の梅沼まで行くとしても時間がかかり慣れない生徒もいる。冬季については、下校便を別で運行するなど配慮をしているが、町域の広さが通学の課題となっておりアンケート結果の要因の一つでもあると考える。
- 教 育 長 他に質疑がなかったため、次へ移る旨を述べた。

(7) その他

- 教 育 長 その他の発言を許した。
- 教 育 主 幹 各小中学校の様子について説明した。
- 教 育 長 他に発言を許しかなかったので、次に移る旨を述べた。

(8) 連絡事項

- 教 育 課 長 次回教育委員会について連絡した。
- 教 育 長 質疑を許しかなかったので、予定した案件をすべて終了した旨を述べ、会議を閉じる旨を宣した。

(午後3時00分閉会)